



2025 年 4 月 30 日

各 位

会 社 名 ハリマ化成グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 長谷川 吉弘
(コード番号 4410 東証プライム)
問合せ先 上席執行役員
経理・財務グループ長 上辻 清隆
(TEL. 06-6201-2461)

2025 年 3 月期連結業績予想値と実績値との差異および

特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

2024 年 10 月 31 日に公表しました 2025 年 3 月期連結会計年度(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じました。また、2025 年 3 月期(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)において、特別損失（減損損失）を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 業績予想値と決算における実績値との差異について

2025 年 3 月期連結会計年度業績予想と実績の差異(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	102,000	3,000	2,500	1,550	63.88 円
今 回 発 表 実 績 (B)	101,006	2,083	1,330	763	31.46 円
増 減 額 (B - A)	△994	△917	△1,170	△787	—
増 減 率 (%)	△1.0	△30.6	△46.8	△50.8	—
(ご参考) 前連結会計年度実績 (2024 年 3 月期)	92,330	△211	△275	△1,161	△47.96 円

II. 差異が生じた理由

当連結会計年度の業績は、第4四半期以降、原材料の値下がりによる販売価格下落によりローター事業で、売上高が減少しました。その結果、売上高につきましては、前回の予想を下回りました。

収益につきましては、全体として経費節減に努めましたが、電子材料事業では、原材料価格の上昇、前期買収した事業の移行費用が増加し、営業利益が前回の予想を下回りました。また、ローター事業においても売上高減もあり、第4四半期以降、販売価格下落に伴う営業利益減に伴い、全体として前回の予想の営業利益を下回りました。経常利益につきましても、海外での金利上昇に伴う支払金利の増加、関連会社の業績悪化に伴う持分法投資損失の増加により、前回の予想より下回りました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、投資有価証券売却益を特別利益に計上しましたが、減損損失を特別損失に計上、法人税等も増加し、前回の予想を下回りました。

Ⅲ．特別損失の計上について

当社は、ニュージーランドにあります連結子会社 Lawter (N. Z.) Ltd. において所有しております事業用資産につきまして、投資額の回収が困難であると予想されるため、帳簿価額を回収可能価格まで減額し、当該減少額（340 百万円）を減損損失として特別損失に計上しました。

Ⅳ．業績に与える影響

上記特別損失は、本日付にて公表の「2025 年 3 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以 上